



# 室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター No.44

雑誌名	室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター
巻	44
発行年	1998-09
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/00009267">http://hdl.handle.net/10258/00009267</a>

## 「事業推進検討委員会」終える

8月7日(金)午後2時より本学本部3階中会議室において平成10年度事業推進検討会が行われた。

田頭学長の挨拶の後、事業推進検討会委員長に(社)寒地港湾技術センター専務理事の得永道彦氏が選出され議事に入った。

本センター長から、平成9年度の本センターの実績報告、全国の共同研究センターの活動、技術移転促進機構(TLO)の解説及び10周年記念事業の報告があった。その後、本センターの事業に対するご意見や要望などを含めて、今後の本センター事業の方向性について討議された。その主な内容は以下の通りである。

1.大学のシ・ズ発信と地域のニ・ズに応えるための社会貢献の方策と課題の検討。2.共同研究の件数の増加につながる方策として、過去の客員教授プロジェクト、プレ共同研究などの実体の調査を行い、共同研究に繋げる工夫をする。3.客員教授を学部等の講義担当者として迎える。4.共同研究の質の向上への要望。5.地元の企業の新産業創出の取り組みへのより積極的な参加の要望。

## 講習会開かれる

(社)火力原子力発電技術協会北海道支部主催の講習会が平成10年8月21日(金)10時20分より本センター、2階産学交流室で行われた。1.「CRDセンターについて」CRDセンター飯島徹助教授、2.「波浪エネルギー・利用概説」建設システム工学科近藤俊郎教授、3.「振り子式波浪発電について」元機械システム工学科渡部富治教授の講習会が行われ、60名の参加者があった。その後、大学内の関連研究施設見学及び室蘭港の実験プラントの見学が開催された。

【運営委員会】平成10年度第2回議事録(5月25日)

議題1. H10年度民間等との共同研究について  
区分Bの新規2件と継続1件、区分Cの新規1件の申請があり審議の結果承認された。

議題2. 特許セミナーの開催について

特許セミナーの開催について北海道通産局から依頼があり共催することが審議の結果承認された。開催は10月30日(金)、場所はCRDセンター内、50人を予定。

報告事項

1. ニュースレターの原稿の依頼について

## 「スワン・フェスタ'98室蘭」終える

白鳥大橋完成記念イベントの一環として8月7日(金)、8日(土)に新日本製鐵体育館にて、「スワン・フェスタ'98室蘭」の産業フェアに室蘭商工会議所他、10機関の共催事業に本センターが展示参加した。参加者は1万人以上で盛況であった。



## 大学研究紹介

室蘭工業大学地域共同研究開発センター研究協会の会員を対象に9月25日(金)午後1時より本学本部大会議室において材料物性工学科、電気電子工学科の学科紹介、2つの講演(「有機廃棄物(ウロ)に含まれる有害重金属の除去プロセスの確立」材料物性工学科 嶋影和宜教授、「飽和吸収媒質における非線形光学特性とその応用」電気電子工学科宮永滋己助教授)及び研究室の見学を行います。当日の午前中は第1回技術開発講演会(案内裏面参照)が開催されますので併せてご参加下さい。

【運営委員会】平成10年度第3回議事録(7月9日)

議題1. H10年度民間等との共同研究について  
区分Bの新規1件、区分Cの継続1件の申請があり審議の結果承認された。

議題2. H10年度受託研究について

継続2件の申請があり審議の結果、承認された。

議題3. H10年度「プレ共同研究」助成の募集について

平成10年度CRDセンターの「プレ共同研究」助成の募集を今年度も実施する旨の説明の後、審議の結果承認された。

報告事項

1. 走査型電子顕微鏡が、9月1日から正式に利用可能になる事が報告された。

# 第1回、2回技術研究開発講演会のご案内

場 所：室蘭工業大学地域共同研究開発センター- 2階 産学交流室

主 催：室蘭工業大学地域共同研究開発センター- (室蘭市水元町 27-1 .0143-46-5860)

共 催：北海道科学・産業技術振興財団、室蘭工業大学C R Dセンター研究協力会

参加費：無料

## 第1回技術研究開発講演会

開催日時：平成10年9月25日(金)9時30分～12時15分

### 理系・文系大学のスクラムによる大学のシ - ズ技術移転の可能性

現在、大学の社会貢献の必要性が求められている。技術系大学からは、技術移転で実際に取り組む大学の環境についての問題を提示する。経済系大学からは、道内企業を例に新産業を創出する際の成功するための分析結果を紹介する。また、環境配慮型の経営の国際基準である ISO14000 審査員の講演を交えて、新産業化やベンチャー化をするためにとるべき方向を議論する。パネル討論では、技術系・経済系大学の連携による新産業創出の取り組みと、国側が技術移転のために取り組んでいる施策(技術移転促進機構(TLO))の実例報告をふまえて総合討論する。

#### 1. 「技術系大学が技術移転に対する取り組むべき課題」

室蘭工業大学C R Dセンター 助教授 飯島 徹

#### 2. 「北海道企業の活性化方策に関する実証研究 - 企業属性に応じた成功要因分析 - 」

小樽商科大学商学科 教授 李 濟民

#### 3. 「21世紀に求められる企業経営法 ISO14000」

横河エンジニアリングサービス(株) 保全技術部課長 荻原 睦幸

#### 4. 「かけ声に終始しない産学官連携に対する真の取り組みについて」

総合討論 コーディネータ： 室蘭工業大学建設システム工学科 教授 斎藤 和夫

コメンテータ： 北海道通商産業局産業部 産業技術課長 浅野 欣司

小樽商科大学商学科 教授 松本 康一郎

小樽商科大学商学科 助教授 近藤 公彦

他、上記講演者

## 第2回技術研究開発講演会

開催日時：平成10年10月13日(火)13時30分～17時00分

### これからの鉄鋼産業

景気や雇用情勢が悪化する中、我が国の基幹産業である鉄鋼業にも陰りが見られる。経済の持続的発展を図るためには、地球規模の環境にも配慮しつつ既存産業の高度化及び利用拡大を加速することが喫緊の課題となっている。鉄鋼業に見られる省コスト化の試み、高強度化や機能性向上の追及あるいは新分野への利用拡大などの実例を通して、鉄鋼業の今後を模索する。

#### 1. 「最近の北海道経済と産業政策」

北海道通商産業局 産業部次長 佃 政芳

#### 2. 「特殊鋼棒鋼・線材製品の開発」

新日本製鐵(株) 室蘭技術研究部 主任研究員 蟹澤 秀雄

#### 3. 「鋳鍛鋼材料研究の現状とこれからの課題」

(株) 日本製鋼所 室蘭製作所副所長 福田 隆

#### 4. 「鉄骨系プレハブ住宅の現状と今後の課題」

日新総合建材(株) 常務取締役 佐藤 隆策

#### 5. 総合討論

参加ご希望の方は Fax:0143-46-5879 CRD センター事務局(飯島)までお申込み下さい。

多数の方のご来聴をお願いします。